

【防災行政無線(固定系)施設整備】

親局は第1庁舎3階に設置する。能代地域の屋外拡声子局スピーカーの性能は、300メートルから400メートルの範囲をカバーする。今年度は41カ所、25年度は37カ所、26年度は35カ所、計113カ所の計画である。難聴対策について、二ツ井地域では町内の班長に伝達する目的で各区長宅に戸別受信設備を配置したが、能代地域の対策は運用しながら必要に応じ検討する。

【各財産区の基金残高】

9月補正後残高は、浅内1億5333万2000円、常盤2623万円、鶴形4710万円、檜山2691万3000円。

【国の特例公債法が成立していない影響】

本市への普通交付税は通常どおり交付されたが、県には3分の1交付で、残り10月と11月の分割交付となる。県補助金は県へ交付が遅れても年度末納入がほとんどで影響ない。

【合併特例債の活用】

今回、中川原地区整備事業

【母子生活支援施設の入所戸数の設定】

現在、条例では入所定員を15世帯と規定しているが、近年の入所世帯数が5世帯程度で推移していることや他市の状況等を勘案して10戸とした。

【衛生費、901万9000円の予防接種費追加】

生ポリオワクチンから注射による不活化ポリオワクチンが導入されたことに伴い、個別接種で市内13の医療機関で行われる。費用は無料、接種回数は

債等に予算措置した。合併特例債活用期間が5年延長されたが、今後の実施計画を踏まえ検討したい。能代地域も過疎債が可能となり、有利な起債を考えていく。

【旧神公民館解体】

解体後は更地にして売却の方向で検討しているが、地元の意向を確認しながら判断したい。(安岡)

総務企画委員会

文教民生委員会

委員会審査報告



文教民生委員会

4回で、生後3カ月から90カ月までの接種未完了児童649人が対象となる。これまで生ワクチンを1回接種した241人については今後3回接種することになる。対象児童の保護者には個別通知や広報でお知らせする。【教育文化施設の指定管理者導入の取り組み状況】現在、部内検討会議を開催し検討しており、今後は職員を先進地に派遣し、各協議会等に報告したい。また、制度導入

に当たっては、理解の得られた施設から順次導入したいが、施設管理の効率性等も考慮しなければならぬことから、期限を定めることは難しい。また、地域の公民館との連携については、現在検討中で方向づけをした上での導入を考えている。(伊藤)

【秋田県種苗交換会事業費補助金】

機械化ショー会場となる能代球場東側市有地が、予想以上に地盤が軟弱なため、地盤を平らにするための造成及び鉄板等の増設を行う。終了後は雪捨て場やグラウンドゴルフ用地とする予定のため、国土交通省の河川事業で砂を入れた所には、来年芝の種をま

環境産業委員会

建設委員会

【環境保全型農業直接支援対策事業】農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性の保全に効果が高い活動の普及推進を図るため、化学肥料、化学合成農業を5割以上低減する取り組みに加え、カバークロップの作付、リピングマルチ、冬期湛水管理、有機農業の4つの営農活動を支援する。【能代街なか商店街景観改修補助金】能代市中心市街地活性化ビジョンで

位置づけした重点区域内の4商店街の景観の向上により、交流人口の拡大と商店街の活性化を目的としているが、統一性を持たせる条件は付していない。今後は木材関係部署なども交え、デザイン等の検討を行い、改修時の参考にしてもらう。【災害復旧費】小さな被害は市で補修、大きな被害は国の災害査定を経て補助事業として復旧し、災害発生時期などの状況によっては冬を越してから対応となる。(渡辺)

【本年4月の料金改定後の水道事業の経営見通し】料金改定により、平成28年度までは純利益が1億1000万円から1億7000万円になるものと見込んでいる。しかし、現状ではそのほとんどを資本的支出の補てん財源としなければならぬ状況が続くと予想されることから、今後は建

【市が浄化槽を設置する部分との連携】市設置型では浄化槽の設置業者を入札により決定している。施工業者には申請人等と必ず打ち合わせをするよう指導しており、今後も引き続き連携が十分図られるよう、指導を行っていききたい。【凍上災の採択基準等】凍

上災は県で公表している10年確率凍結指数を超えた地域で、アスファルト舗装の厚さが3センチメートル以上の道路の被害を対象としている。申請後、国の査定官が指数や現地を確認した上で採択される。【住宅リフォーム緊急支援事業は来年度も継続されるか】施工業者からは大変好評をいただいております、今後の申し込み状況や財政状況を勘案しながら検討していききたい。(庄司)